

## 1 水子貝塚【国指定史跡】

縄文時代前期中頃（約6,000～5,500年前）の集落跡です。集落内に貝塚が形成され、直径約160mの環状に分布しています。



## 2 羽沢遺跡出土縄文土器【県指定有形文化財】

羽沢遺跡は市内を代表する縄文時代中期の集落跡です。昭和59年（1984）に第40号住居跡から完形に近い土器がまとめて出土し、11点の土器が一括して指定されました。



## 3 道しるべ

天保15年（1843）に建立され、碑には「山下河岸三丁、ひき又十五丁、所さわ三里、川ごえ三里半」と刻まれています。



## 5 水子城の下組囃子

明治に志木市の高橋氏により伝授され、7月15日に近い土曜・日曜の天王様の祭礼に奉納されます。江戸神田囃子の流れをくみます。



## 7 中水子囃子

江戸神田囃子の流れをくみ、春と秋に獅子頭をおさめた御輿が家々を巡る平心講が中心となっています。



## 8 北通遺跡第8号方形周溝墓出土遺物

北通遺跡は針ヶ谷に所在する弥生時代後期～古墳時代初頭の大集落です。遺跡の南東には墓域があり、第8号方形周溝墓からは鉄剣・ガラス玉・大型壺などの副葬品が出土しています。



## 4 水子上組囃子

江戸神田囃子の流れをくみ、嘉永年間（1848～1853）に伝えられたといわれています。7月15日に近い土曜・日曜の天王様の祭礼に奉納されます。



## 6 水子石井囃子

三芳町竹間沢の神楽師前田太夫から伝えられたといわれ、神楽面も残されています。7月15日に近い土曜・日曜の天王様の祭礼に奉納されます。江戸神田囃子の流れをくみます。



## 9 水宮神社般若院文書

江戸時代に摩訶山般若院として十玉院配下の本山派修験道の活動を行った水宮家に伝わる古文書です。十玉院との間で交わされた文書など市域の修験道の実態を記す貴重な史料です。  
※個人保管のため公開していません。

## 10 打越式土器

縄文時代早期末の土器型式で、市内の打越遺跡から出土した資料を標識として昭和53年（1978）に提唱され、その名称がついています。



## 11 役行者座像

檜材を使用した木像で、総高140cm、最大幅74.3cm。製作年代は記されていませんが、江戸時代初期まで遡ると考えられます。本山派修験道の寺院として摩訶山般若院（現在の水宮神社）が水子地区を中心に活動していた頃のもので、市内の民間信仰の歴史を示す史料としても、また造形や規格から美術品としても優品です。

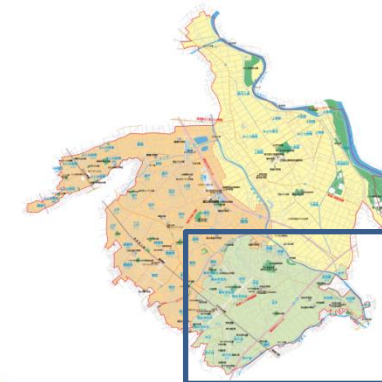


## 12 水川前遺跡出土銅鏡

大字水子に所在する水川前遺跡第95地点で出土した銅鏡です。平安時代の集落跡から完形に近い銅鏡が出土する事例はとても少なく、埼玉県内では初の事例です。



※現在は、富士見市文化財整理室に保管中です。



番号	名称	所在地	指定日
1	水子貝塚【国指定史跡】	富士見市大字水子 2003 他	昭和 44 年 9 月 9 日
2	羽沢遺跡出土縄文土器【県指定】	富士見市大字水子 2003-1	平成 10 年 3 月 17 日
8	北通遺跡第8号方形周溝墓出土遺物	水子貝塚資料館内	平成 4 年 2 月 17 日
10	打越式土器		平成 29 年 2 月 23 日
3	道しるべ	富士見市大字水子 1891	昭和 52 年 3 月 17 日
4	水子上組囃子	富士見市大字水子	平成元年 1 月 10 日
5	水子城の下組囃子	富士見市大字水子	平成元年 1 月 10 日
6	水子石井囃子	富士見市大字水子	平成元年 1 月 10 日
7	中水子囃子	富士見市大字水子	平成元年 1 月 10 日
9	水宮神社般若院文書	富士見市大字水子 1762	平成 13 年 2 月 8 日
11	役行者座像		令和 2 年 2 月 19 日
12	水川前遺跡出土銅鏡	出土：富士見市大字水子 所在：大字上南畑 文化財整理室	令和 6 年 2 月 8 日